

田原市地域計画の運用状況は

農業の担い手確保や農地の集約化の促進が図られるように運用している



やま かみ かつ よし
山上 勝由
自由民主党田原市議団



農地の継続的な利用について

問 田原市地域計画の運用状況は。

答 現在、この地域計画を市ホームページ等で公開しており、農地の貸し借りや売買が円滑に行われるように活用するなど、農業の担い手確保や農地の集約化の促進が図られるように運用している。また、基盤整備事業が必要となる地域では、事業計画を策定する際の資料として活用する。

問 地域計画の目標地図を見ると、10年後に担い手が位置付けられていない農地が多いと感じるが、どのようなところに課題があるのか。

答 農業者自身が10年後のイメージができないことや、農地が多い地域は現実的に全ての農地に担い手を位置付けられないことが考えられる。

問 地域計画をさらに有効なものにするために、今後どのように取り組んでいくのか。

答 それぞれの地域において話し合いを継続するとともに、農地の利用が確認できていない耕作者の意向を把握するなど、農業委員会をはじめとする関係機関と連携し、着実な運用に努める。

問 担い手の農地取得の支援は。

答 農地・園芸施設バンクとして、市内の手放したい農地や農業施設などの情報を市のホームページに公開するほか、バンク登録者へのメール配信を行うなど、担い手への売買や貸借のあっせんをしている。

問 農地・園芸施設バンクの新規登録を促す取り組みは。

答 市役所での窓口申請や郵送申請に加え、令和6年2月からオンライン申請を行っている。

問 担い手の農地取得に対して、今後どのような支援を考えているのか。

答 農地・園芸施設バンクの農地情報を地図上に掲載し、希望する農地を見つけやすくする地図情報システムの整備を行う。

市職員の働きやすい環境づくりについて

問 窓口業務の受付時間の見直しを行う考えがあるのか。

答 本年度、時期や時間帯による窓口業務の状況や職員の勤務実態、受付時間を短縮した場合の市民サービスへの影響などを総合的に検証し、実施に向けて研究していきたい。

問 受付時間の見直しを研究していくとのことだが、現時点でどのような見直しが考えられるのか。

答 受付開始時間を遅らせることや受付終了時間を前倒しするなど、職員の適正な労務管理に資する形での見直しが考えられる。

問 受付時間を短縮する時間幅を今後検討すると思うが、具体的にどのように決定していくのか。

答 時間ごとの窓口の利用状況を分析し、短縮による市民サービスや業務への影響を見極めた上で、適切な時間幅を研究していきたい。

窓口業務の受付時間の見直しを行う考えがあるのか

窓口業務の状況や市民サービスへの影響などを総合的に検証し、実施に向けて研究していきたい



なか むら けん たろう
中村 健太郎
国民民主党田原市議団

